



東京の3つ目の訴訟 新生存権裁判東京でも勝訴 新たな「生活保護基準引き下げ」のたたかいへ

6月24日11時に、東京の3つ目の訴訟である新生存権裁判東京の判決がありました。結論は、原告勝訴の一審判決を維持するというものでした。昨年6月の最高裁での勝利判決後から14番目の高裁判決となります。東京高裁の管轄内の裁判は、地裁も高裁もすべて原告勝訴です。同時に、国家賠償を認めなかった一審での判決が維持されるという残念な課題も残されました。

☆最高裁判決まで☆

2013年に、安倍内閣が強行した戦後最大となる670億円の生活保護基準の引き下げに対して、全国の生活保護利用者1万人以上が審査請求を行い、1000人以上が提訴し、10年間たたかいぬき、2025年6月27日に最高裁で勝利しました。

☆最高裁判決軽視の厚労省の対応☆

ところが厚労省は、原告・弁護団・支える会の意向をともに聞こうとせず、判決で違法とされた「デフレ調整」に代えて、別の理由を持ち出し改めて減額調整を行い、さらに、裁判をたたかった人だけに減額調整した差額分を支給するという、卑劣で不当な決定をしました。

☆新たなたたかいへ☆

判決後の報告集会では、この厚労省に不当なやり方を許すことはできないとして、新たなたたかいが提起されました。

①国家賠償訴訟支援

保護基準引き下げで、人間らしく生きる生存権が

侵害されことに国家賠償訴訟をしている人たちは、今回の判決では救済されることはありませんでした。そこで支援する会は、国家賠償訴訟を引き続けたたかう原告を全力で支援することを確認しました。

②たたかいで勝ち取った生活保護費支給を知らせる取り組み

最高裁判決後、厚生労働省が行うことを決めた、「減額された生活保護費の支給」についても、まだ知らない人が少なくありません。すべての生活保護利用者に声をかける大きな運動に取り組み、行政不服審査法に基づく審査請求を行うことが確認されました。

③さらに多くの人たちに知ってもらう取り組み

これまでも行ってきた隔月での宣伝行動を引きつづき行い、運動を世論に訴え広げる取り組みを進めることが確認されました。

8月30日(日)には13時30分からけんせつプラザ東京をお借りして、第17回生存権裁判を支える東京連絡会の総会が開催されます。弁護団を講師に学習を行い、新たなたたかいの意志統一を行います。ぜひご参加ください。



次回の4の日宣伝
7月14日(火)巣鴨駅で
8月はおやすみ12時から

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10

東京労働会館6F

TEL: 03-5395-3165 FAX: 03-3946-6823

東京社保協

検索



介護保険制度・介護報酬の抜本改善 大幅な処遇改善を求める新たなたたかい 新介護署名キックオフ集会をみんなで視聴しましょう

介護保険制度・介護報酬の抜本改善、大幅な処遇改善を求める
新介護署名キックオフ集会
2026年7月28日(火)18時~19時
完全オンライン



■集会スケジュール (17時30分 受付開始)

18時00分~開会
18時05分~介護保険制度をめぐる情勢報告
18時35分~各地のたたかい・実態報告
18時50分~行動提起
19時00分~閉会



■参加 Zoom ミーティング(QRコードからも入れます)

<https://zoom.us/j/97214644016?pwd=uPE0YLaEENHGW6DOLJdU0DP5vXEvSx.1> ミーティングID: 972 1464 4016 パスワード: 092876



主催: 全日本民医連/全労連/中央社保協
問い合わせ: 中央社保協 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階
電話 03-5808-5344 / FAX 03-5808-5345 / メール k25@shahokyo.jp

本改善、大幅な処遇改善を求めるたたかいを、出足はやく進めます。完全オンラインで開催されますので、地域でお誘いあわせてみんなで視聴しましょう。「当日はほかの予定が既に入っているよ」という地域でも、後日視聴できます。みんなで意思統一して足を踏み出すために学習の機会として位置づけましょう。

9条守れの運動を大きく広げ 改憲勢力を包囲しましょう

6月18日傍聴席を埋めつくす傍聴者が見守る中、衆議院憲法審査会は、改憲手続きを定めた国民投票法改正案を、日本共産党の畑野君枝さんが「議員や首長を選ぶ選挙と、改憲の賛否を問う国民投票は、主体も内容も異なる」「公選法並びで改正すること自体が問題だ」と発言したのみで採決、賛成多数で可決しました。公職選挙法の直近の改正にあわせて、投票立会人や開票立会人の選任要件を緩和し、改憲案の広報をAMラジオに加えてFMラジオでも可能とし、資金力の多寡で広告料が左右されることを容認する內容です。

5月3日憲法集会の様子



介護事業所の倒産・休廃業が過去最多と深刻です。介護保険料は月額6,225円、被保険者から悲鳴が上がっています。介護労働者の処遇も低いま、人材不足は一層深刻です。政府は、介護の危機状態を改善するどころか、この特別国会で、全国一律サービスの提供という介護保険制度の原則を覆す介護保険法などの改悪を成立させました。この秋から年末にかけては、「介護利用料2割負担の対象拡大」や、来年4月の介護報酬改定に向けた議論が本格化します。この秋の闘いはますます重要です。

介護崩壊を許さず、介護保険制度・介護報酬の抜

この間の様々な選挙戦でも、SNSをめぐって大きな問題が指摘されている中での採択・可決に、傍聴席は騒然としました。

しかし、その後の憲法9条に関する議論では、「専守防衛・非核3原則を堅持すべき。9条を変える議論に期限を切るのはそぐわない（チームみらい）」「9条は1項2項ともを変える必要はない（中道）」「9条の変更は急ぐべきではない（国民）」、また、与党である自民党と維新の会との間でも意見が分かれました。

これは、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃から国民を守った9条の力と、この間の国民的な運動の広がりを無視できなくなっていることの現れではないでしょうか。戦争と社会保障は共存しません。新しい9条署名を大きく広げ、改憲の動きにストップをかけましょう。

の現場から豊島区職労の松山さんが、資格確認書の全員交付に触れ「家族によってもまちまちで発送作業が煩雑。一律交付できれば間違いも起こらない」と発言がありました。

最後に「いつでも、どこでも、誰でも安心して医療を受けられるように従来の保険証を取り戻そう」と団結ガンパローで決意を固めあいました。

異常な物価高騰から都民の暮らしを守る 都議会第2定例会に向け 都議会開会日行動

6月9日都民連・東京地評・東京社保協主催で、都議会開会日行動が行われ、22団体から132人が参加しました。集会では、「中小企業支援・賃上げ支援を都の責任で」「30年間据え置き障害者福祉手当の増額を」「IR・カジノを東京に誘致するな」「都営住宅の増設で住まいの貧困を無くせ」「戦争の基地を無くせ 東京から平和の発信を」と5つの団体から決意表明がありました。最後に参加者全員で、元気にシュプレヒコールをおこない、「物価高から都民の暮らしを守れ」「都営住宅を今すぐ増設しろ」「危険な基地を今すぐ撤去しろ」「大軍拡・改憲の政治は許さないぞ」と都知事室に向けて声をあげました。

10日には、人権としての医療・介護東京実行委員会で行っている「医療・介護への支援継続と公的支援拡充を求める陳情書」を24、136筆の署名を添えて提出。9月議会での審議に向けさらに署名を積み上げます。

都民要求実現のためご協力をお願いします。



やっぱり従来の保険証がいい 保険証を取り戻そう！トークセッション マイナンバー制度反対連絡会



6月12日けんせつプラザ東京で「保険証を取り戻そう！トークセッション」が開催され、16団体188人が参加しました。

集会では、はじめに共通番号いらないネットの原田さんから、「マイナカードの押し付けに抗した取り組みと市民からの声」「マイナカードを押し付ける国の動き」などが紹介されました。東京土建の木村さんからは、国保組合として「健康保険証が廃止されたことで起きている問題」について報告があり、組合員が安心して受診できる環境づくりや、組織を守るための取り組みが紹介されました。医療現場からは、東京保険医協会の吉田さんが、保団連が行った調査結果をもとに、いまだに続く「マイナ保険証のトラブル」について報告。「マイナカードは義務ではない。保険証に登録する必要はない。保険証を復活させましょう」と呼びかけました。全商連の服部さんからは、国はマイナンバー登録を進めるために青色申告制度が改悪している実態を告発。自治体

加盟団体の総意で練り上げた 対市意見交換会の積み上げが着実に実現 調布社保協総会

5月28日調布市文化会館たづくり研修室にて、第30回調布社保協総会が開催されました。

調布社保協では、毎年大きく位置付けている取り組みとして、調布市との意見交換会があります。市への要望書の提出のために4月から6月にかけて参加団体で討議。高齢者、健康医療、暮らし、障がい者、子育て、生活環境・公園、道路・交通・自転車、街づくり、住宅、防災、教育など様々な対策について、市民・生活者目線の要望・意見など幅広く厳選し要望書を整えます。

7月に要望書を提出、9月に市から回答書をもとにさらに詮議して、1月の意見交換会に臨んでいます。



この積み上げの中で今年は①補聴器助成の条件緩和②生理用品の小中学校への配備③調布駅東口駐輪場への休日要員の配備④老朽化した学校トイレの改修などが実現しました。この意見交換会は、市の理事者の重視していることなども紹介され、確信が深まりました。

各地域・団体の取り組み

「なんでも相談会」を実施しよう 様々な知恵出しで新年度方針を確認 町田社保協総会



5月16日町田市中心公民館会議室にて7団体12人の参加で、町田社保協総会が開催されました。総会の前段で開催された「老いをどう生きるか」の学習会には会場いっぱいの25人が参加、関心の高

さがうかがわれました。

交流の中で「一人暮らしで、身近な親族もいない場合」の不安が出され、切実な問題を共有し、身近に相談しあえる仲間がいることの大切さを改めて確認しあうことができました。

総会では、生活と健康を守る会の参加者から「生健会では、なんでも相談会を実施しているが、社保協でも実施してもらえると、受けられる相談の幅が広がる。ぜひ実施してほしい」と意見が出され、どのような形ならできるか、具体的な方法なども出され、新年度になんでも相談会実施に向けた様々な知恵出しがされました。

あらたな活動参加者も迎え、根気強く社保協運動を進めていく決意を固めあう総会となりました。

地域社保協の情報をお寄せください

地域の取り組みの交流で
運動を前進させましょう！
東京社保協へメールで
情報提供をお願いします
チラシ・議案
ニュースなど